

第8章 計画における緑化重点施策

緑化のための重点的な施策について、特に緑化整備を推進していく地区の整備方針及び緑地整備計画の検討を行い、その中から今後この計画を推進する上で緊急的課題を要するプロジェクトをリーディングプロジェクトと位置づけた。また、重点的な施策の詳細な内容を示した。

1.緑化重点施策について

緑化重点施策については、重点的な緑化整備地区を「緑化重点整備地区」、具体的な施策内容を「自然保全・緑化活動推進のための重点施策」、優先的な整備内容を「リーディングプロジェクト」として示した。

●緑化重点整備地区

たはらの身近な緑をつくるための具体的な緑化整備内容としてはこれまでの検討結果から、「市街地に緑量を増やすことで都市としての風格を高める」、「広域的、戦略的な地域づくり、観光交流空間づくり」、「自然と産業が調和した田原市の未来を感じる」、「地域の自然を体感する」の4つの観点から整備する必要がある、その整備を先導的・重点的に推進すべき象徴的な箇所として以下に示す10箇所の地区が考えられる。以上のことから、この10箇所については緑化重点整備地区に位置づけ、他の施策を強力に牽引するプロジェクトとして実施することとする。

<市街地に緑量を増やすことで都市としての風格を高めるプロジェクト>

- ・ 中心市街地～汐川干潟周辺
- ・ 赤羽根海岸～赤羽根市街地
- ・ 福江市街地

<広域的、戦略的な地域づくり、観光交流空間づくりのためのプロジェクト>

- ・ サンテパークたはら周辺
- ・ フラワーパーク跡地周辺
- ・ 伊良湖岬周辺
- ・ 三河湾沿岸

<自然と産業が調和した田原市の未来を感じるためのプロジェクト>

- ・ 臨海産業地域

<地域の自然を体感するためのプロジェクト>

- ・ 立馬池周辺
- ・ 西山防風林周辺

●自然保全・緑化活動推進のための重点施策

田原市の自然環境及び緑の将来像を実現するために、第6章で整理した施策の体系にしたがい、「まもる」「つくる」「はぐくむ」の観点から施策の内容を明確にし、より具体的な展開を図るためのプロジェクトとする。

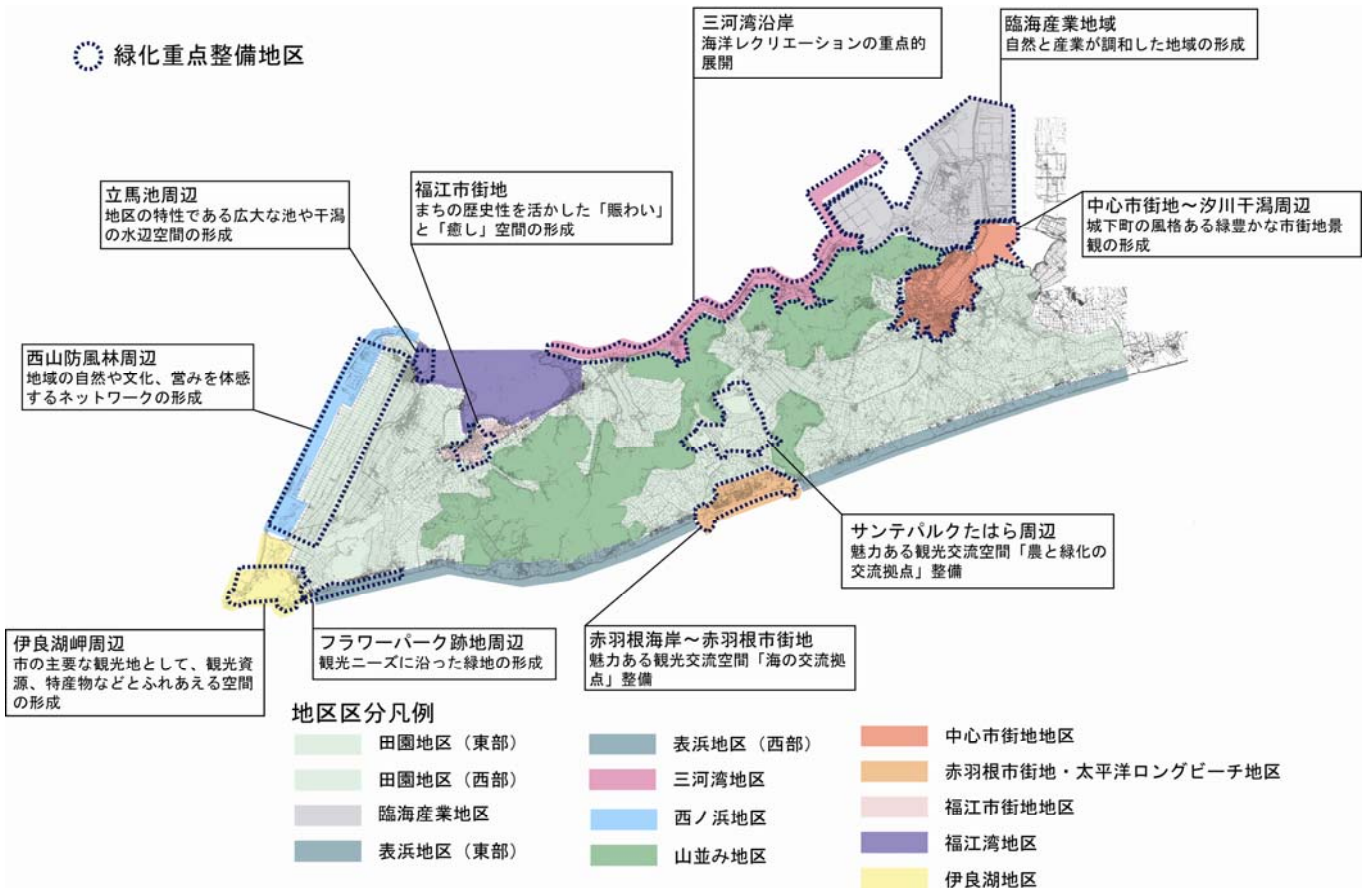
●リーディングプロジェクト

緑化重点整備地区及びシンボル拠点の中から、自然環境保全や身近な緑をつくるなどの緑化推進のための市民活動の拠点となり、今後この計画を推進する上で緊急的課題を要するプロジェクトとする。

2. 緑化重点整備地区

緑化重点整備地区について、それぞれの整備方針及び緑化重点整備計画図を示した。

2-1. 緑化重点整備地区の配置



(1) 市街地に緑量を増やすことで都市としての風格を高めるプロジェクト

1) 中心市街地～汐川干潟周辺

【整備方針】

田原城址周辺、三河田原駅前、中央公園の緑を大きな核として、学校など公共施設の緑をつなげる他、汐川、清谷川沿いの緑地の確保、街路樹整備により、緑豊かな中心市街地の形成を図る。

2) 赤羽根海岸～赤羽根市街地

【整備方針】

赤羽根海岸～赤羽根市街地を「海」の交流地点として位置づけ、緑豊かなアメニティ性の向上を目指したまちづくり、拠点づくりを進める。

3) 福江市街地























【整備方針】

まちのイメージアップのきっかけとなるよう、歴史を感じられる公園（街区公園）や道路環境の整備を進める。

中心市街地～汐川干潟周辺 城下町の風格ある緑豊かな 市街地景観の形成

《整備方針》

田原城址周辺、三河田原駅前、中央公園の緑を大きな核として、学校など公共施設の緑をつなげる他、汐川、清谷川沿いの緑地の確保、街路樹整備により、緑豊かな中心市街地の形成を図る。

- | | | | |
|---|--|--|--|
|  城下町の歴史的街並みの整備 |  道路沿いの緑化、修景 |  ウォーキングトレイル（プロムナード） |  利用動線 |
|  ウォーキングトレイル沿いの歴史的街並みを重点的整備 |  豊川用水の緑道化 |  ウォーキングトレイル（樺の道） |  豊橋鉄道 |
|  田原の文化をつなぐ遊歩道の整備 |  水辺の遊歩道の整備 |  ウォーキングトレイル（城の道） |  重点整備地域 |
|  緑豊かなメインストリートとして整備 |  サインの整備 |  ウォーキングトレイル（花の道） | |
|  公園、緑地の整備 |  公園、緑地、社寺林、学校林の保全 |  干潟 | |
|  河川沿いに広がる緑地の形成 |  水辺の向上 |  農地 | |
| | |  山林 | |

※市街地全体において：生垣の推進・緑量ある住宅地の形成

田原城址を中心とした城下町の 歴史的街並みの再生

- 田原城址、峯山会館、池ノ原公園、つばき公園、大手公園などの歴史と緑の拠点を中心に城下町の雰囲気を残した歴史的街並みの整備を行う（景観条例や景観地区の検討）。

三河田原駅から田原城址までを緑豊かな メインストリートとしての整備

- 緑豊かな三河田原駅前広場を整備する。
- 以下のような二本の緑豊かなメインストリートを形成する。
 - 三河田原駅前から、「はなとき通り」を経て田原城址までの区間（花と緑の商業空間づくり）
 - 三河田原駅から汐川沿い、田原文化会館、築出緑地を経て田原城址までの区間（緑豊かな憩いの道づくり）

汐川、清谷川沿いの緑地、遊歩道の形成による緑の 都市軸の形成

- 中心市街地を貫く汐川、清谷川沿いに、緑地空間を積極的に確保し、並木整備と併せて、魅力ある水辺空間を形成する。
- 地域住民の参加による清掃活動や緑化活動を一層推進する。

中央公園を憩いの交流拠点として整備

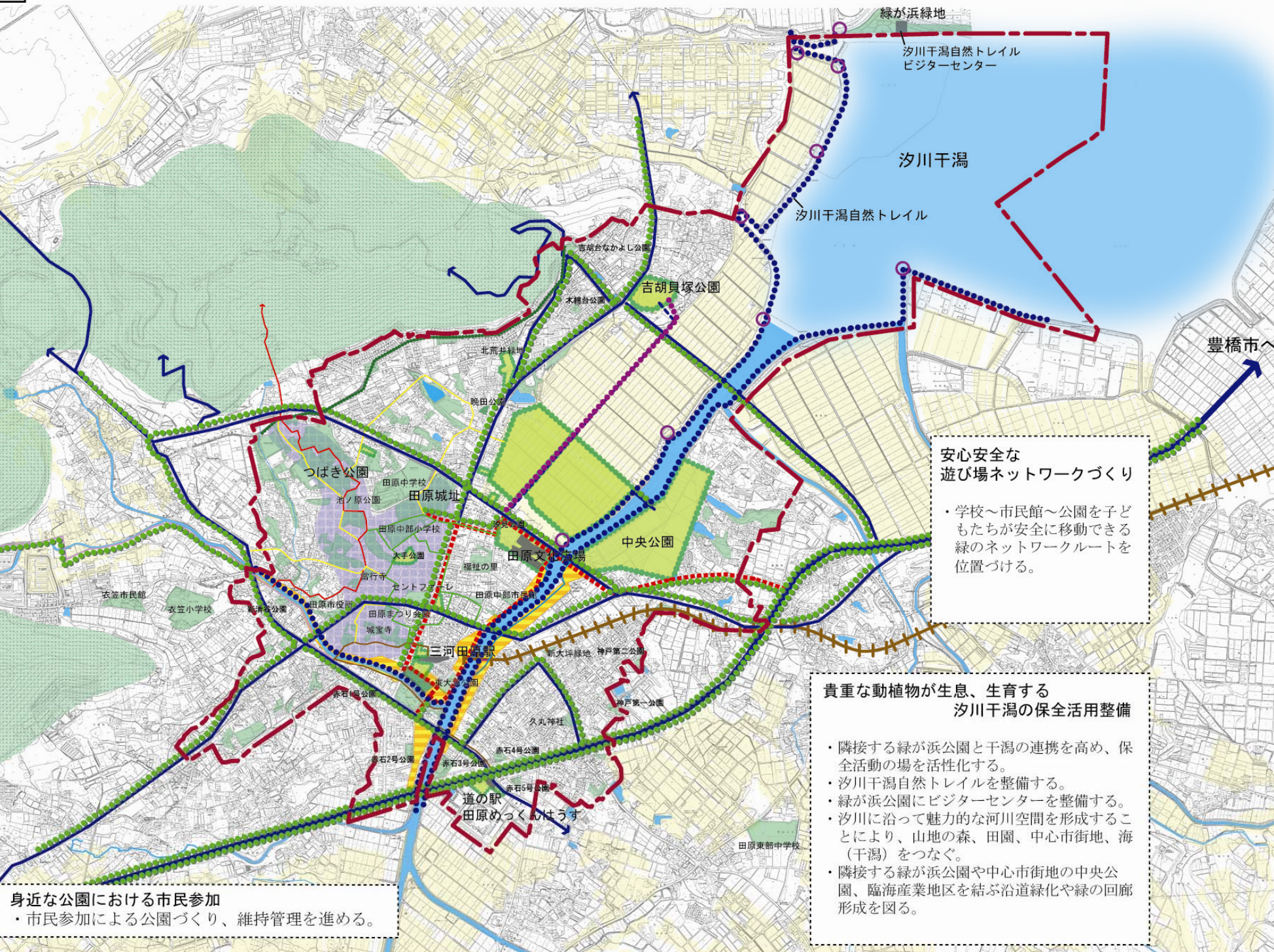
- 市民が気軽にスポーツに親しみ、健康づくりのための活動を行える公園を整備する。
- 市民が集い、凧祭りなど、市民の祭りを開催できる広々とした空間を整備する。

歩いて楽しいまちづくり推進

- 歴史的街並みを再生する地域を中心として、城下町の雰囲気を形成する土塀の再生や生垣をめぐらせた道を整備する。
- ウォーキングトレイルの延長整備、歴史解説などの案内、サインなどソフト面の充実を図る。
- 市街地周辺の吉胡貝塚遺跡や汐川干潟、権現の森、蔵王山、滝頭公園、藤七原湿地などの拠点へつながる緑豊かな遊歩道を整備する。

公園、公共施設の連続的緑化の推進

- 公園や市役所、福祉センター、文化会館、学校などの緑地を保全、拡大を図りつつ、それらをつなぐ緑の連続性を確保するよう、都市計画道路など主要道路の街路樹や民有地の生垣など庭づくりの整備を推進する。



安心安全な 遊び場ネットワークづくり

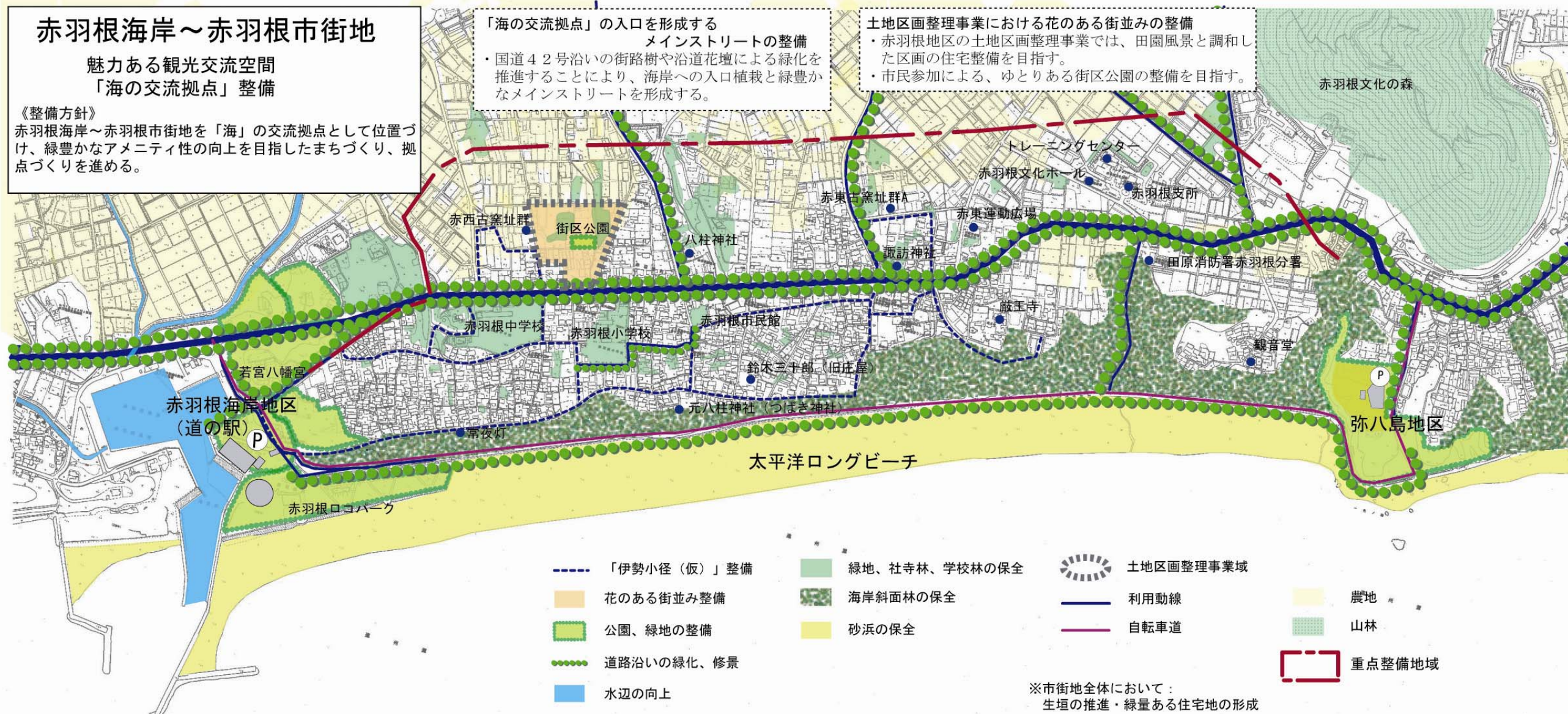
- 学校～市民館～公園を子どもたちが安全に移動できる緑のネットワークルートを位置づける。

貴重な動植物が生息、生育する 汐川干潟の保全活用整備

- 隣接する緑が浜公園と干潟の連携を高め、保全活動の場を活性化させる。
- 汐川干潟自然トレイルを整備する。
- 緑が浜公園にビジターセンターを整備する。
- 汐川に沿って魅力的な河川空間を形成することにより、山地の森、田園、中心市街地、海（干潟）をつなぐ。
- 隣接する緑が浜公園や中心市街地の中央公園、臨海産業地区を結ぶ沿道緑化や緑の回廊形成を図る。

身近な公園における市民参加

- 市民参加による公園づくり、維持管理を進める。



赤羽根海岸～赤羽根市街地
 魅力ある観光交流空間
 「海の交流拠点」整備

《整備方針》
 赤羽根海岸～赤羽根市街地を「海」の交流拠点として位置づけ、緑豊かなアメニティ性の向上を目指したまちづくり、拠点づくりを進める。

「海の交流拠点」の入口を形成する
 メインストリートの整備

- ・国道42号沿いの街路樹や沿道花壇による緑化を推進することにより、海岸への入口植栽と緑豊かなメインストリートを形成する。

土地区画整理事業における花のある街並みの整備

- ・赤羽根地区の土地区画整理事業では、田園風景と調和した区画の住宅整備を目指す。
- ・市民参加による、ゆとりある街区公園の整備を目指す。

赤羽根市街地においてかつての伊勢街道の趣が感じられる「伊勢小径（仮）」とポケットパークの整備

- ・若宮八幡宮や厳王寺、諏訪神社といった社寺や古窯址群など及びその周辺の緑地を保全し、それらを生垣をめぐらせた街路や遊歩道でつなぐ。
- ・遊歩道はサインや案内板を設置することにより、かつての伊勢街道の歴史が感じられるものとする。

砂浜を自然保護エリアとして保全

- ・砂浜の自然公園法による車両の立ち入り制限などにより、海浜植生やアカウミガメの産卵地を保全する。

赤羽根海岸沿いの海岸斜面林の保全

- ・海岸斜面林の緑化などによる崩落防止を図る。

“共生” “交流” “情報提供” をテーマとした赤羽根漁港周辺整備

- ・港のマーケットやアウトドア拠点などの交流拠点を整備する。
- ・アカウミガメの保護につながる施設や展示施設を整備する。
- ・地元の食材を堪能できる農産物、海産物販売施設やレストラン（道の駅）を整備する。
- ・来訪者への休憩施設、情報提供施設を整備する。

“もてなし” 空間としての弥八島周辺整備

- ・表浜の海と山の自然を学ぶ環境学習の場を整備する。
- ・弥八島周辺～太平洋ロングビーチ～赤羽根漁港周辺を砂浜と海岸斜面林でつなぐ緑の回廊を整備する。
- ・また、サイクリングロード沿いに沿道植栽を行い、利用ネットワークを形成する。
- ・「おもてなしの庭」「温浴施設」「散策路」などゆったりと利用できる滞在型の施設展開を図る。

身近な公園における市民参加の推進

- ・市民参加による公園整備、維持管理を進める。

安心安全な遊び場ネットワークづくり













- ・学校～市民館～公園を子どもたちが安全に移動できる緑のネットワークルートを位置づける。

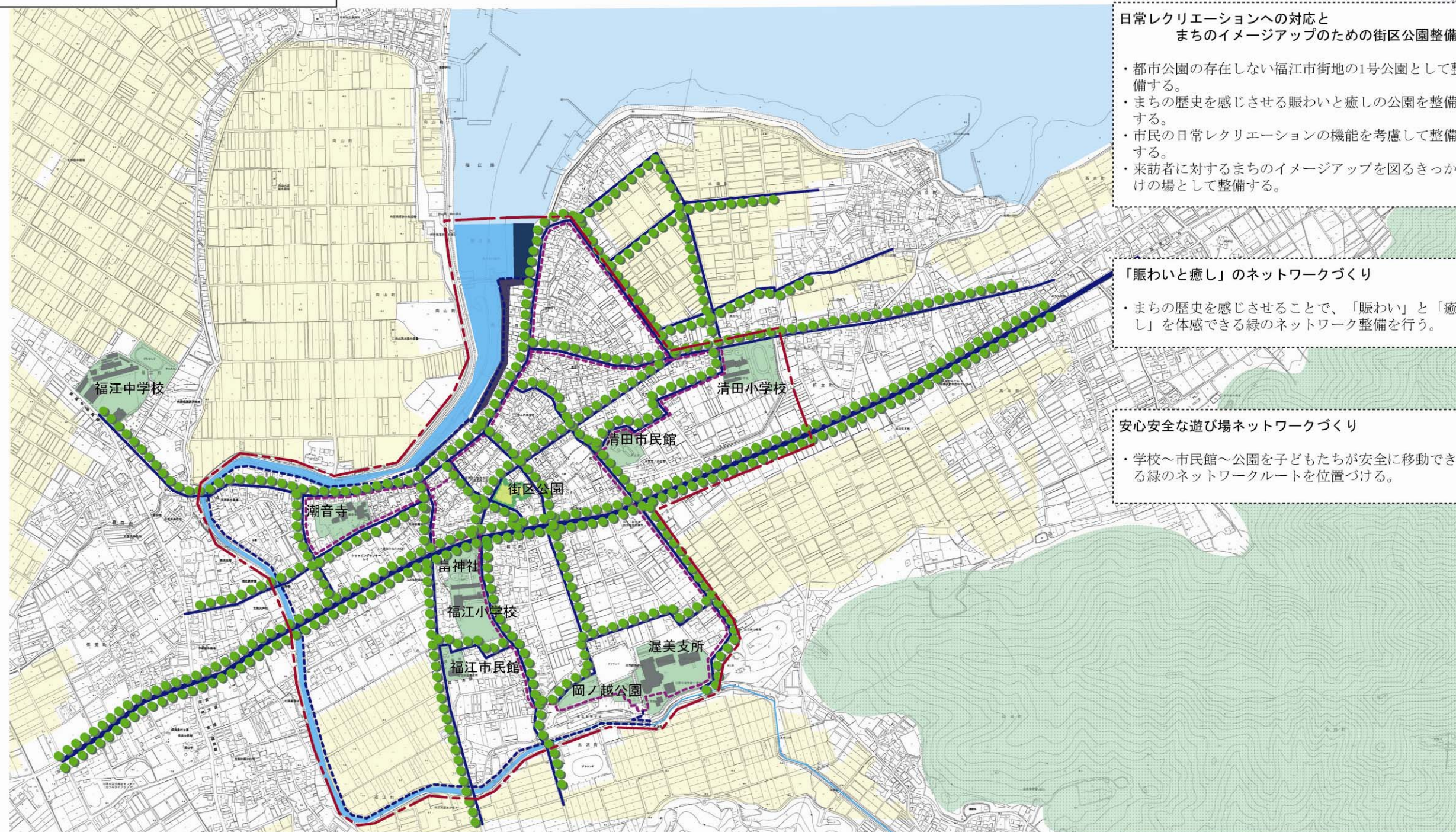
福江市街地

まちの歴史性を活かした
「賑わい」と「癒し」空間の形成

《整備方針》

まちのイメージアップのきっかけとなるよう、歴史を感じられる公園（街区公園）や道路環境の整備を進める。

- | | | | |
|--|---|--|--|
|  河岸環境の改善 |  公園、社寺林、学校林の保全 |  利用動線 |  干潟 |
|  公園、緑地の整備 |  水辺の向上 |  歴史と和みのトレイル |  農地 |
|  道路沿いの緑化、修景 | |  水辺のトレイル |  山林 |
| | | |  重点整備地域 |



日常レクリエーションへの対応と まちのイメージアップのための街区公園整備

- ・都市公園の存在しない福江市街地の1号公園として整備する。
- ・まちの歴史を感じさせる賑わいと癒しの公園を整備する。
- ・市民の日常レクリエーションの機能を考慮して整備する。
- ・来訪者に対するまちのイメージアップを図るきっかけの場として整備する。

「賑わいと癒し」のネットワークづくり

- ・まちの歴史を感じさせることで、「賑わい」と「癒し」を体感できる緑のネットワーク整備を行う。

安心安全な遊び場ネットワークづくり

- ・学校～市民館～公園を子どもたちが安全に移動できる緑のネットワークルートを位置づける。